

協定留学近況報告書

記 入 日	2018年 11月 18日
留 学 先 大 学	マラヤ大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: _____
留 学 期 間	2018年9月－2018年6月
明 治 大 学 での 所 属	政治経済学部政治学科____専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____ 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

大学側から招待される Facebook グループで情報を集めていた。不明点は、ISC という国際担当事務室にメールしていたが、返信が遅いため、疑問点は早めに連絡する必要がある。

II - 1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類: シングルエントリービザ	申請先: マレーシア大使館
ビザ取得所要日数: 約 1 か月半(申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: RM525.3 (約 1 万 5000 円)

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

①オンライン申請の際

パスポートサイズの証明写真(ブルーの背景)35mm×45mm、パスポートのコピー、マラヤ大学からのオファーレター、明治大学からのサポーティングレター、最新の成績証明書(英語)、IELTS などの英語能力を示す書類以上をスキャンしてオンライン上で申請する。なお、EMGS のアプリをダウンロードして、申請状況をこまめに確認することをお勧めする。

②大使館への申請

マラヤ大学から送られてきたビザ承認レター、パスポート、行きの飛行機の子チケットのコピー(英語)、入学許可書のコピー、パスポートの写真があるページのコピー、証明写真 2 枚、ビザ申請書 2 枚(大使館ホームページからダウンロードできるが、大使館でもらえるため見本を見ながら書くことをお勧めする)

具体的な申し込み手順を教えてください。

- ① 必要な書類を EMGS にオンラインで送る(6 月初めごろ)
- ② EMGS からビザ承認レターがオンライン上で送られてくる
- ③ 必要な書類を持って、午前中の申請時間内にマレーシア大使館に行く(混み合うことが多いため、早めの時間に行くことをおすすめする)次の日にシングルエントリービザが発行され、午後に取りに行くことができる。
- ④ マレーシアに渡航後マラヤ大学のビザユニットで学生ビザの申請をする
- ⑤ 約 4 週間後にパスポートが返却される

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

前年度と取得法が変わっていて、情報も少ないため、かなり困った。また申請に時間がかかるため、早めに情報を得て行動することが大切である。

II - 2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

キャッシュパスポートを持っていったため、現地での現金調達は容易だった。SIM ロックを解除してスマホで、MAXIS という SIM カードを利用している。(様々な携帯会社があるが、MAXIS が繋がりがやすく、おすすめ。学内の寮には Digi という携帯会社がある)

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	Air Asia				
航空券手配方法	Air Asia のオンラインサイトより ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	KLIA2	現地到着時刻	6:35 AM		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	約 1 時間				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

待ち合わせ場所がメールで送られてきたが、見落としていた人が多く全員集合するのに約 1 時間かかった。

大学到着日	8 月 27 日 11 時頃
-------	----------------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	大学側から、オンキャンパスの寮に住むか否かの連絡が来る。希望する場合は、オンキャンパス寮に入寮することができる。私の場合は、オフキャンパスに住みたかったため、International house という大学外の寮を、マラヤ大学のウェブサイトで見つけ、オンラインで申請をした。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

なし

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9/3~9/5
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容の様子は？	ピザについての説明、オー明治システムのようなサイトへの登録、保険加入、ウェルカムパーティーなど
留学生用特別ガイド	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9 月 10 日から

Ⅳ. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

在留届けの提出のみ

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

渡航前に健康診断の日程を選択でき、渡航後、大学が斡旋しているクリニックで健康診断を受ける

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

開設していない

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

SIM フリー携帯を持参していたため、購入はしていない

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

■ 出発前に(4月12日頃)

■ オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

■ 到着後に(9月10日頃)

オンラインで登録 ■ 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった ■ なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

原則として留学生だから優遇されることはない。英語で開設されている授業を確認し、登録する必要がある。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

出発前に授業が6つ登録することができたが、一つは教授の都合で開講されなかった。また、ドロップはISCという国際事務室で申請すれば良いため容易だが、追加する際は授業によって人数制限があり、授業を担当する教授と学部サインをもらう必要があるため、やや大変だった。また履修期間は、ISCが大変混むことも注意が必要である。取りたい授業とチュートリアル時間が被るなどして、100%希望通りの授業は取れなかった。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床						
8:00	チュートリアル	起床		起床		起床	起床
9:00			起床		起床	土日は、旅行したり、友達と出かけた たり、買い物をして過ごす。 課題が多い時は、準備に時間を使う。	
10:00	Welfare System	チュートリアル	自由時間	Ethnicity, identity, political minorities in SEA	自由時間、もしくは プレゼンの準備など		
11:00	Welfare System	課題などをして 空きコマを過ごす		Ethnicity, identity, political minorities in SEA			
12:00							
13:00	洗濯・家事など			昼食			
14:00				洗濯・家事			
15:00	課題			課題			
16:00		Sustainable Development					
17:00		Sustainable Development	Aikido (Sport)				
18:00	夕食		Aikido	夕食			
19:00		夕食			夕食	夕食	夕食
20:00			夕食				
21:00							
22:00							
23:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

マラヤ大学はマレーシアの最高学府だが、授業によっては休講が多かったり、課題の指示が適当だったり、形式だけのプレゼンテーションだったり、オーガナイズされていないと感じることもある。しかし様々な国から来ている留学生のレベルはとて高く、毎日刺激をもらっている。留学生にバディーはつくが、サークルなどへ参加するハードルも高く、現地学生と交流する機会はあまり多くないため、自ら積極的に新しいことを探していく必要があると感じている。幸いにも、留学生の友達、授業でできた友達、中国人のルームメイトに恵まれ、毎日楽しく過ごすことができているが、学問を学ぶという観点では物足りなさを感じる。

しかし多文化国家のマレーシアは、それぞれの民族を尊重している文化があり、とても貴重な経験になっていると思う。また、基本的にマレーシア人は、バイリンガルもしくはトリリンガルのため、暮らしている中で英語が通じず困ることはほぼない。(地方となったら話は別かもしれないが、クアラルンプールでは英語だけで生活ができる。)しかし、それぞれの民族のアクセント、特にチャイニーズマレーのアクセントは慣れるまで聞き取ることが大変だった。

またイオン、ダイソーなどの日系企業も多く進出しているため、暮らしはとても便利である。ただ、大学の周辺はバスもしくはタクシー移動が基本となり、バスを長時間待つ忍耐が必要な場面も多々ある。日本人よりも、遥かにのんびりしてよく言えばおおらかな国民性のため、様々な手続きの際イライラすることも多かったが、自分が変わるしかないと感じ、寛容になり徐々に受け入れることができるようになったと感じている。

ただ、マレー料理は辛く、油っぽいものが多いため飽きやすく、日本人にはあまり合わない場合が多い。しかし、中華料理、インド料理、日本料理など様々な種類のレストランがあり、逃げ道は多くあるため、過剰に心配する必要はない。私は自炊できる環境で暮らしているが、自炊がしづらい学内の寮に住んでいる友達は、寮のカフェテリアで食べられる食事が限られていて、苦戦している人が多いように感じる。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

マレーシアは、東南アジアの中でも特に多様性を守る国で、様々なバックグラウンドを持つ人が暮らしている。また宗教にあまり馴染みのない日本人にとって、イスラム教、ヒンドゥー教、仏教、その他の宗教など、宗教の存在が大きいこの国で暮らす経験は、新たな視点をもたらすことと思う。多民族国家で暮らしたい人にはぴったりの場所だと感じる。欧米に比べ、物価が安く、親日国家であるため暮らしやすい国であると感じている。日本のように便利な生活ではないが、異文化と発展を肌で感じながら暮らすことができるはずである。